

【竹内博氏追悼エッセイ】「竹内博さんの意外な一面」

難波弘之

突然の竹内博さんの訃報は、かなりショックでした。

もう十年ほど前のことですが、「実は僕、隠れ香山滋ファンで、全集も持ってます」と、あるパーティの席上で告白したら、あのシャイな感じのままでしたが、嬉しそうに相手を崩されて、「一度うちに遊びにいらつしやい」と言っておきましたので、これを真に受けて図々しくも本当に押し掛けました。

その時は東北沢の駅まで出迎えて下さり、井の頭通り沿いのアパートへ案内されました。

他の本はご実家に置いてあるそうで、ほとんど香山滋の本しかありませんでしたが、ジュブナイルに至るまで、本当に状態の良いコレクションが整然と並べられ、しばし色々手に取って拝見させて頂きました。

「難波さんはどの作品が一番好きですか？」と訊かれ、迷わず『地球喪失』です」と答えると、「ああ、あれはこうですねああですね」と、実的確なお話が返って来ました。

しばらくすると「実は、僕、こんなコレクションもあるんです」とおっしゃって見せて下さったのが、何と岩崎宏美さんに関するコレクションでした。

シングルやLPはもちろん、ポスターやアイドル誌の切り抜きまで、香山滋と同等の情熱と丁寧さで綺麗に保存されていました。

きつと、僕が岩崎姉妹のレコーディングに参加していることもご存知のうえで、見せて下さったのでしよう。

折しも宏美さんのデビュー三十周年だったかで、果たしてご本人はこんなに資料をお持ちかしら？ と気になり、ご本人に電話したら、「実はちょうど散逸してしまった自分の資料を探している」とのこと。

何でも、宏美さんの熱心なファンとして、竹内さんのことは前からご存知だったようですが、そこは歌手とファンですから、距離を取っていたようです。

「実はこれこれこういう人です。おたくだけど（笑） “使えるおたく” です。絶対に怪しい人物ではありませんから、安心して彼から資料を借りて下さい」と提案し、お二人の間を取り持つことになりました。

何とこれがきっかけで、竹内さんの資料は彼女のボックス・セット（だったか？）に使われることになったのです。

その後も何度かパーティなどでお見かけしご挨拶をしました。

地味に研究活動を続けられているようでしたが、まさかお具合が悪いとは存じませんでした。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。